

公募説明会

次世代AI技術についての 利活用方針検討調査

2023年5月25日(木) 11:00 – 12:00

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

ロボット・AI部

◆ 公募内容の説明 (※)

- 調査内容
- 調査期間 及び 規模
- 応募資格
- 提案書類の提出について
- 委託先の選定
- スケジュール
- 留意事項

◆ 質疑応答

(※) 本資料の説明は公募関連書類の内容を要約したものです。応募に当たっては必ず公募関連書類を熟読し、参照してください。公募関連書類はNEDOホームページからダウンロードできます。
https://www.nedo.go.jp/koubo/CD2_100333.html

- 公募要領 (PDF)
- 仕様書 (PDF)
- 提案書様式 (WORD)
- 契約に係る情報の公表について (PDF)
- 情報管理体制確認票 (EXCEL)

公募内容の説明

2022年度において、文章及び画像の生成を行う、大規模データセットを利用した人工知能モデルが無料で公開され、基盤モデル技術は世界的に注目を浴びる技術分野となっており、当該分野における競争は激化している。このような状況下で、国際競争力維持の為に基盤モデル構築を開始するのであれば、現在が最後のタイミングだという有識者の意見も存在している。



2024年度以降で実施を検討している基盤モデル関連プロジェクトについて、事業の方向性検討のための調査事業を実施する。

新たに我が国固有の基盤モデル作成を行うという場合においては、
以下のような課題が存在している。

- データセットに使用するデータの**著作権問題**によるデータセット作成の困難さ
- 基盤モデルの**ブラックボックス性**による情報操作や出力された結果の正確性保証
- すでに**先行して取り組んでいる企業の存在**に対しての競争力の担保

これから国としてどのような人工知能技術について研究開発を行うかの検討を行うため、これまでNEDOで検討を深めてきた「**取り組むべきAI技術開発**」の取組の方向性について改めて精査すると共に、特に基盤モデルについては、今後取り組むべきプロジェクトの対象と仮定して、技術動向調査・市場調査・分析、複数回にわたり様々な専門分野の有識者等との議論を行い、**我が国の基盤モデルに必要とされる要件や持続的に機能するためのエコシステム・仕組みについての明確化を行う。**

世界における基盤モデルの研究開発、利活用の状況についての調査結果を踏まえ、基盤モデルの作成方針、及びその他AI技術を含めた技術の利活用の観点から以下の(1)～(2)についての検討を行いその結果についての整理を実施する。

(1) 基盤モデルを含む今後国として取り組むべきAI技術の検討

(1)-1 AIアクションプラン「取り組むべきAI技術開発」についての動向調査

(1)-2 基盤モデル技術の動向・及び影響調査

①基盤モデルに関する技術動向調査

②基盤モデルに関する市場動向・予測調査

(2) AI技術の動向調査を踏まえた国産の公的基盤モデルの要件定義

調査内容（調査項目(1) について）

（仕様書：P. 2）



(1)-1 AIアクションプラン「取り組むべきAI技術開発」についての動向調査

NEDOにて2021年に作成した「人工知能(AI)技術分野における大局的な研究開発のアクションプラン」においてとりまとめを行った、12の「取り組むべきAI技術開発」の技術分野について、2021年度当時からの情報科学の発展を踏まえ当該技術分野の主要な研究について調査を行い、技術開発の進捗状況や、活用想定分野について、2021年度アクションプラン策定時の状況からの変化についての調査を実施する。（右図は取り組むべきAI技術開発の1例）

■ 調査内容

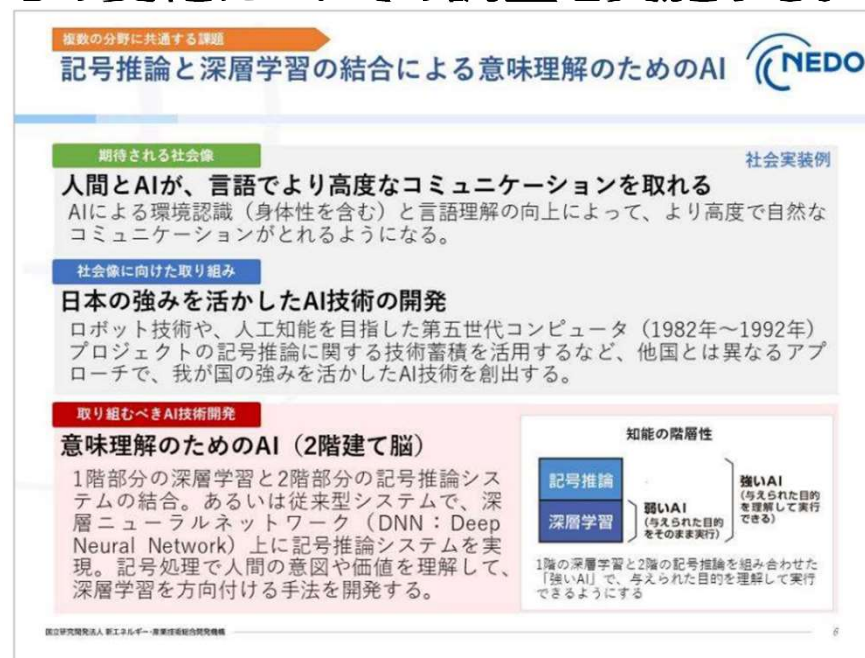
「取り組むべきAI技術開発」について

- 12の技術分野は現在も重要かどうか
- 12の課題に追加すべき内容はないか
- 基盤モデル技術の組み合わせで、重要性が高まる技術はあるか

についての検討を実施する。

参考：AIアクションプラン掲載リンク

https://www.nedo.go.jp/library/ZZCD_100046.html



(1)-2 基盤モデル技術の動向・及び影響調査

(1)-2-①基盤モデルに関する技術動向調査

基盤モデル技術についての研究開発動向や、要素技術動向、また、それを支える周辺技術の動向について調査を実施する。

■ 調査内容

- 研究開発事例（自然言語、動画像、音声、ロボットタスク/制御 等の事例）
- 要素技術動向（創発現象・スケール則などの基礎理論、拡散モデル・GPTモデル等のベースとなるモデル事例等）
- ファインチューニング技術（「InstructGPT」等のチューニング技術など）
- 基盤モデル構築に必要な周辺技術動向（必要な計算資源量、現在使われているデータセット・要件）

調査内容（調査項目(1) について）

（仕様書：P. 2）



(1)-2-②基盤モデルに関する市場動向・予測調査

基盤モデルに関する事例や政策動向調査、及び基盤モデル技術に関する市場規模やサービスについての現状と今後の予測についての調査、検討を実施する。

■ 調査内容

- 海外事例（プレイヤー、事業分野）
- 国内事例（プレイヤー、事業分野）
- 各国政策動向（米国、中国、欧州、ほか）
- 基盤モデル技術によって今後新たにサービスが予想されるAI製品
- 社会的・法的課題（データの権利侵害、利用規制動向等）
- 基盤モデルを作成した際に、海外市場において有効な分野となる可能性のある分野の検討

※赤字記載項目については重点的に調査を行うものとする。

(2) AI技術の動向調査を踏まえた国産の公的基盤モデルの要件定義

人工知能技術に関するテックコミュニティを利用し、国産基盤モデルのあるべき姿について異なる専門性を有する複数の有識者の議論を踏まえて基盤モデルの要件定義を実施する。

■ 想定される論点案

- ・どのようなデータセットを作成すべきか(テキスト、画像、音声、映像、ロボット関連データ etc.)
- ・データセットフォーマットの在り方
- ・基盤モデルの機能要件(中央集権型(大規模なモデル 1 つ)と分散型(中規模なモデルを複数)のどちらにすべきかや、APIの仕様設計の論点を含む)
- ・基盤モデル・計算資源・データセットに対する民間企業の利用ニーズ
- ・公的基盤モデルが社会に与える影響性
- ・国際的な競争力
- ・データ収集の実現性
- ・基盤モデルのエコシステム(継続的なモデル更新のメカニズムやAIアライメント等の国際連携の在り方の検討を含む)

調査期間 及び 予算規模

(仕様書：P. 3 及び 公募要領：P. 3)



✓ 調査期間（実施期間）

N E D O が指定する日から**2024年3月31日**まで

✓ 予算規模

2,000万円以内（契約金額）

✓ 報告書

提出期限：2024年3月31日

提出方法：N E D O プロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、
作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

✓ 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼すること
がある。

次のa.からd.までの全ての条件を満たすことのできる、単独ないし複数で受託を希望する企業等とします。

- a. 当該技術又は関連技術についての調査／事業実績を有し、かつ、調査／事業目標の達成及び調査／事業計画の遂行に必要な組織、人員等を有していること。
- b. 当該委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金等について十分な管理能力を有し、かつ情報管理体制等を有していること。
- c. N E D O が調査／事業を推進する上で必要とする措置を、適切に遂行できる体制を有していること。
- d. 支援施策の検討およびその有効性検証について、事業計画の遂行に必要な組織、人員等の体制を有していること。

提案期限 及び 提出先

(公募要領：P. 3 - 4)



(1) 提出期限

2023年6月2日（金）正午アップロード完了

※応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。公募期間を延長する場合は、N E D O ウェブサイトでお知らせいたします。

なお、N E D O 公式Twitterをフォローいただくと、ウェブサイトに掲載された最新の公募情報に関するお知らせをTwitterで確認できます。是非、フォローいただき、御活用ください。

<https://www.nedo.go.jp/nedomail/index.html>

(2) 提出先

Web入力フォーム

<https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/v3yr89woby8q>

- a. 「4. (2) 提出先」のWeb入力フォームで以下の①～⑬を入力いただき、⑭に提出資料をアップロードしてください。アップロードするファイルを提出書類毎に作成し、全てPDF形式で、一つのzipファイルにまとめてください。なお、アップロードするファイル（PDF、zip等）にはパスワードは付けないでください。

提出時に受付番号を付与します。再提出時には、初回の受付番号を入力してください。再提出の場合は、再度、全資料を再提出してください。

提出された提案書を受理した際には代表法人連絡担当者宛に提案受理のメールを送付いたします。

- b. 次の公募関連書類がダウンロードできますので、御参照ください。
- 仕様書（PDF）
 - 提案書類（WORD）
 - 調査委託契約標準契約書

公募要領P.5記載の**提出にあたっての留意事項**を遵守ください。

- 提案書
- 会社経歴書（又はこれに準ずるもの）
※N E D O と過去 1 年以内に契約がある場合を除く
- 直近の事業報告書及び直近3年分の財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書）
- N E D O 事業遂行上に係る情報管理体制等の確認票及び対応するエビデンス（別紙2）

6. （1）審査

以下の審査基準に基づき提案書類を審査します。なお、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられませんのであらかじめ御了承ください。

6. （2）審査基準

- a. 調査の目標がN E D Oの意図と合致していること。
- b. 調査の方法、内容等が優れていること。
- c. 調査の経済性が優れていること。
- d. 関連分野の調査等に関する実績を有すること。
- e. 当該調査を行う体制が整っていること。
- f. 経営基盤が確立していること。
- g. 当該調査等に必要な研究員等を有していること。
- h. 委託業務管理上N E D Oの必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること。

委託先の選定 (2/2)

(公募要領：P.6)



6. (2) 審査基準 (続き)

ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況（平成28年3月22日にすべての女性が輝く社会づくり本部において、社会全体で、女性活躍の前提となるワーク・ライフ・バランス等の実現に向けた取組を進めるため、新たに、女性活躍推進法第24条に基づき、総合評価落札方式等による事業でワーク・ライフ・バランス等推進企業をより幅広く加点評価することを定めた「女性の活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取組指針」が決定されました。本指針に基づき、女性活躍推進法に基づく認定企業（えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業）、次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業（くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業）、若者雇用促進法に基づく認定企業（ユースエール認定企業）に対しては加点評価されることとなります。）

6. (3) 委託先の公表及び通知

採択結果の公表等

採択した案件（実施者名、事業概要）はN E D Oのウェブサイト等で公開します。不採択とした案件については、その旨を不採択とした理由とともに提案者へ通知します。

スケジュール



2023年

5月 19日

公募開始

5月 25日

公募説明会（本日）

6月 2日（正午必着）

公募締切

6月 中旬（予定）

採択審査（※）

6月 下旬（予定）

採択決定、結果公表

7月 下旬（予定）

契約締結

（※）委託先選定に係る審査は、受理した提案書類、添付資料等に基づいて行いますが、必要に応じてヒアリングや追加資料の提出等を求める場合があります。

7. 留意事項

- (1) 契約及び委託業務の事務処理等について
- (2) 国立研究開発法人から民間企業への再委託
- (3) ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況
- (4) N E D O 事業遂行上に係る情報管理体制等の確認票及び対応するエビデンス
- (5) 公的研究費の不正な使用及び不正な受給への対応
- (6) 研究活動の不正行為への対応
- (7) RA（リサーチアシスタント）等の雇用
- (8) 国立研究開発法人の契約に係る情報の公表
- (9) 安全保障貿易管理について（海外への技術漏洩への対処）

8. 問い合わせ

本公募に関するお問い合わせは、
以下の問い合わせ先までE-mailでお願いします。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
ロボット・AI部 工藤、植松

E-mail : foundation_model@ml.nedo.go.jp

質疑応答(全体を通じて)
